

据付工事をされる方へ

●この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。

安全上のご注意

(RW-223P 形を据え付ける場合)

- 据え付け前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しく据付工事を行ってください。
- ここに示した注意事項は、いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

⊘ ……「禁止」を表わします。

❗ ……「必ず守っていただく行為」を表わします。

⚡ ……「アース設置」を表わします。

*お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

■据え付け上の注意事項

⚠警告 (誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの)



据え付け及び移設は、お買上げの販売店または、専門業者に依頼してください。
ご自分で工事され不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。



床が丈夫で水平なところに確実に据え付けてください。
転倒・落下によるケガなどの原因になることがあります。

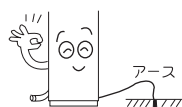


水のかかる場所や湿気が多い場所には据え付けしないでください。
漏電により、感電や火災の原因になります。



アースを確実に取り付けてください。
故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。

アース設置 電気工事業者によるD種接地工事が必要です。



定格15Aのコンセントを単独で使ってください。
他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



定格電圧 (単相100V) 以外で使わないでください。
定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。



電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。
異常発熱や火災の原因になることがあります。



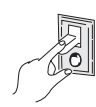
電源プラグをウォータークーラーの背面で押し付けしないでください。
電源プラグを傷付け、感電や火災の原因になることがあります。



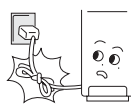
⚠注意 (誤った取り扱いをした時に、状況によっては) 重大な結果に結び付く可能性が大きいもの)



専用の漏電しゃ断器を設置してください。
漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、また、重い物を乗せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。
雑菌により健康を害するおそれがあります。



据付工事をされる前に

- 給水源には必ず水質基準（厚生省令第69号）に適合した飲料水をご使用ください。
- 給水圧はゲージ圧0.15~0.7MPaの範囲内でお使いください。
- 水入口バルブは必ず逆流防止のものをお使いください。
- 据付工事が完了したら、お客様に取扱説明書の内容をよくご説明ください。

据付場所について

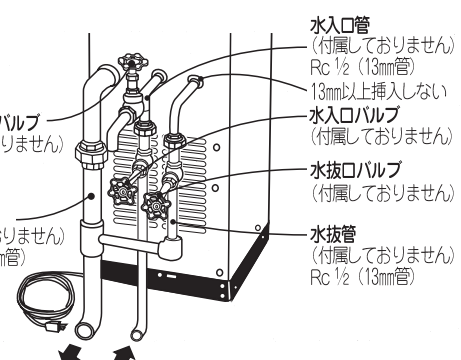
据え付け上の注意事項に従いお客様の同意を得てから据え付けてください。

配管類の洗浄

配管類は接続する前に充分洗浄してください。配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これが混入すると、ストレーナーが詰まったり、異臭を放つ水が出るおそれがあります。

据付工事をされる場合

配管は、地域の水道局認可の硬質塩化ビニール管、硬質塩化ビニールライニング鋼管等をお使いください。



水入口管 (付属していません) Rc 1/2 (13mm管)
13mm以上挿入しない

水入口バルブ (付属していません)

水抜口バルブ (付属していません)


水抜管 (付属していません) Rc 1/2 (13mm管)

排水管 (付属していません) Rc 1 (25mm管)

配管内排水バルブ (付属していません)

※図は配管の一例です。

- (1)水抜口バルブ、水抜管は冷却タンクの洗浄に必要ですので必ず配管してください。
 ・水抜口バルブは冷却タンクの洗浄、水抜き時以外は必ず閉じてください。
- (2)水抜口と排水受側の間には必ず25mm以上の空間を開けて、逆流を防止してください。
- (3)水抜管の製品への接続は13mm以上挿入しないでください。13mm以上挿入すると製品側の継手が破損するおそれがあります。
- (4)水抜管と排水管の製品側の継手は硬質塩化ビニール製です。配管接続時に強く締め過ぎると、継手が割れるおそれがありますので、締め過ぎないように注意してください。



水抜管
排水受側
25mm以上
空間を開ける

配管を接続するときのご注意

シール剤は、配管に詰まったり、水ににおいが移るようなものは使用しないでください。

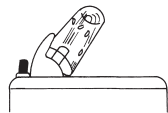
冷却タンク内および配管内の洗浄

据え付け当初は、水に配管などのおいが移ることがあります。においが消えるまで次の手順で充分水を流してください。

- (1)水抜口バルブを開けます。
- (2)水入口バルブを開けます。
- (3)ボタン連続レバーをセットします。

冷却タンクへの水の入れかた

冷却タンク内などの洗浄が終わりましたら、水抜口バルブを閉めてください。冷却タンク内に水が入るとノズルからタンク内の空気が水と混じって噴出されます。このとき、水が飛び散りますので、図のようにコップを使ってノズルからの噴水が正常になるまで行ってください。

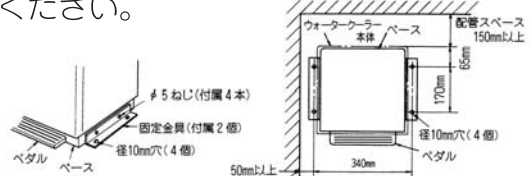


ノズルから出る水の量の調節

- ノズルから出る水の量の調節は、次の手順で水入口バルブの開閉で行います。
- ①水入口バルブを一旦「全閉」にして、ボタン連続レバーをセットしてください。
- ②水入口バルブをごくゆっくり開けてゆき、ノズルから出る水の量を調整してください。
- ③再度調整を行う場合は水入口バルブを再度「全閉」にしてから行ってください。
- 噴水の高さはノズルカバーの上端より5~10cmが適当です。水を出した瞬間だけ水が高く飛び、水受皿から水が飛び出すことがあります。水を出した瞬間も水受皿から水が飛び出さない高さに、水入口バルブを調整してください。

本体を床面に固定するとき

転倒防止のため、ベースの両側面に付いている固定金具を図のように反転して取り付け、市販のM8アンカーボルト等を使用して床面に固定してください。



ストレーナーにごみなどが詰った場合

前パネルをはずしますと、ストレーナーが図の位置に組み込まれています。ストレーナーにごみなどが詰まると、水の出が悪くなります。ごみなどが詰まった場合は、ピンセットで取り除いてください。キャップは、ケースとキャップそれぞれにスパナをかけてはずしてください。

- ストレーナーは図の向きで奥まで確実に挿入してください。
- オーリングはキャップの溝に確実に挿入し、キャップ締め付け後は水漏れを確認してください。

